

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Surgical management of cerebral metastases from melanoma: outcome in 147 patients treated at a single institution over two decades	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ19-7	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ I V ）	
	Pubmed ID	11883841	
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Neurosurg	
	雑誌 ID		
	巻	96	
	号	3	
	ページ	552-8	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2002 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Zacest AC	シドニー大学
その他著者 1		Besser M	同上
その他著者 2		Stevens G	同上
その他著者 3		Thompson JF	同上
その他著者 4		McCarthy WH	同上
その他著者 5		Culjak G	同上
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	悪性黒色腫の脳転移例で手術を施行した症例の成績を解析する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	シドニー大学	
	対象者	脳転移例 147 例 脳転移数：1 個(84%)、2 個(13)、 ≥ 3 個(3) 腫瘍径：<3cm(57%)、3-5cm(26)、 >5 cm(14) 頭蓋外病変：なし(44%)、あり(56)	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (14)	
	介入（要因曝露）	手術単独：6% 手術＋全脳照射：69% 手術＋全脳照射＋化学療法：22% 手術＋化学療法：2% 二回以上の手術：16% 生検のみ：2%	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	生存期間	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	2	予後因子（生存に関する）	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	3	症状改善率	1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	主な結果	手術後の平均生存期間：8.5 か月 3 年生存率：9%、5 年生存率：5% 生存率に関する予後因子 単変量解析：脳転移の数、完全切除、再切除 多変量解析：脳転移の数 神経症状改善率：消失(52%)、改善(26)、変化なし(9)、他(13) 症状の改善と生存期間には相関なし	

	結論	脳転移の多くの症例は手術と術後照射により神経症状の改善が得られ、毒性が少ない。長期生存している症例は、単発脳転移で頭蓋外に病変がないものであった。切除後の再切除は選ばれた症例では適切であろう。
	備考	
レビュワーコメント	レビュワー氏名	鹿間直人
	レビュワーコメント	単発脳転移で他臓器に転移のない症例が中心で、非常に予後がよい症例を対象にしているので解釈には注意が必要。 レベル I V